



太平洋セメント<5233>、上場子会社のパシフィックシステム<3847>をTOBで完全子会社化



太平洋セメントは、情報システム事業を手がける上場子会社のパシフィックシステムをTOB（株式公開買い付け）を通じて完全子会社化する。グループ全体のDX戦略を強力に進めるうえで、その中核を担うパシフィックシステムが短期的な利益にとらわれず、中長期的な目線で投資拡大が行える体制を整える。

太平洋セメントはパシフィックシステムの株式65.7%を所有しており、残る株式をTOBを通じて取得する。

買付価格は1株につき6850円。TOB公表前日の終値5170円に32.5%のプレミアムを加えた。買付予定数は50万7524株。下限は所有割合0.97%にあたる1万4400株。買付代金は約34億7600万円。

買付期間は8月12日～9月24日の30営業日。決済の開始日は9月30日。公開買付代理人はみずほ証券（復代理人は楽天証券）。パシフィックシステムはTOBに賛同し、株主に応募を推奨することを決めた。TOBが成立すれば、同社の東証スタンダード市場への上場は廃止となる。

パシフィックシステムは1980年、太平洋セメントの前身の一つである秩父セメントの情報システム事業を担うシステム総合開発として設立。1999年に現社名となり、2007年にNASDAQに上場した（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。